

昭和63年度大学別実施報告について

ここには、昭和63年度の放送利用の大学公開講座に関する各実施大学及び番組制作・放送機関（放送局）からの報告を、実施大学別に掲載した。この報告の内容は、平成元年2月20日(月)、21日(火)の両日に放送教育開発センター制作棟ホールにおいて開催された「第6回放送利用の大学公開講座シンポジウム」の第1セッション用資料「昭和63年度放送利用の大学公開講座実施報告の概要」から引用したものである。

ここでは、各実施大学別にそれぞれ「講座の概要」、「実施報告」、「制作報告」に分けて掲載してある。

まず、「講座の概要」では、①各科目の概要、②各科目の構成、③スクーリング、④再視聴について、その概略を示してある。

「実施報告」は、(1)実施責任者報告と(2)科目担当主任講師の所見から成り、(1)実施責任者報告は各大学の放送公開講座実施責任者によるもので、1.放送公開講座の大学における位置づけと放送局その他の関係機関との協力関係、2.テーマの選択とそのねらい、3.番組、印刷教材、学習指導の関連づけ、4.番組の学習効果、5.印刷教材の作成過程、6.学習指導の実施状況、7.「大学教育の地域社会への開放」に果たす役割、8.「大学の授業への活用」の状況と可能性、9.実施上の問題点と今後の課題等についてまとめたものである。

「制作報告」は、同じく(1)制作責任者報告と(2)番組制作担当者の所見から成り、(1)制作責任者報告は各制作放送局の放送公開講座制作責任者によるもので、1.番組制作の基本方針と大学その他の関連機関との協力関係、2.番組の企画、構成及び制作上の工夫、特色等、3.番組の視聴状況と成果（評価・反応）について、4.実施上の問題点と今後の課題等についてまとめたものである。